



2016年5月10日

各位

東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 富三
(東証二部・コード3837)

問合せ先
役職・氏名 取締役経営管理部長 後関和浩
電話 03-5796-3131

中期経営計画「Vision 2020」に関するお知らせ

当社は、2016年3月末で終了した「中期経営計画 Vision 2016」に続いて、2016年4月からの3カ年を対象とした新たな中期経営計画「Vision 2020」を策定しました。

当社は、新たに「IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業」を中長期的に目指す姿（ビジョン）として掲げ、この3カ年を、2020年以降も持続的成長を遂げる為の変革期と位置付け、「IoTを活用した次世代社会システムで次なる成長」のスローガンの下、持続的成長と企業価値向上を図り、「利益成長型企业」を目指します。

1. 前中期経営計画の振り返り

「Vision 2016」では、連結売上高 100 億円、連結営業利益 5 億円（営業利益率 5.0%）、ROE 10%以上の達成を目指しておりました。この3カ年で連結対象会社を有することもなく、結果として、単体にて、売上高 104.6 億円、営業利益 5.4 億円（営業利益率 5.2%）、ROE 11.5%を達成することが出来ました。

事業戦略においては、「社会システム事業で飛躍する」をスローガンに掲げ、各事業を推進して参りました。

社会システム事業では、首都圏・関西・九州・中国をベースに全拠点連携による総合力を発揮し、全国の電力・ガス等のエネルギー関連各会社様向けの自由化対応に、スマート・メーターから通信制御、大規模基幹システムに至る幅広い領域に対応しました。又、鉄道、航空、情報通信、医療、旅行、自動車、防災、オフィス機器、ネット決済等の各領域では、先進技術とノウハウをワンストップ・ソリューションとしてご提供することが出来ました。更に、年々脅威が高まる社会的なセキュリティ課題に対して、企業の情報セキュリティ・ガバナンスから IoT 機器に至るセキュリティ・ソリューションをワンストップで提案・提供し、「セキュリティのアドソル」のブランドが確立しつつあります。

ユビキタス事業では、先進的な次世代をテーマとした自動車をはじめ、医療機器やスマート・メーター等への対応の他、当社の特許技術を応用したフィジカル・セキュリティ・ソリューションも確実に成果を上げております。

金融システム事業では、最終年度に地方銀行向け営業店端末システムの次案件が立ち上がり、信販向けクレジット・カードを中心としたネット決済基盤に注力する等の、戦略見直しを行いました。これにより、次期中期計画では、当社の更なる事業拡大に向け、金融システム事業を、社会システム事業に統合・再編いたします。

2. 経営ビジョン：「IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業」

・ 当社の強み

当社は1976年の創業来、電力・制御に強いICT企業として40年に及ぶ実績と経験を積重ね、今日では、デバイス（センシング、OS、近距離無線を含む）から、広域ネットワーク、大規模基幹システム、クラウド、ビッグデータに至るIoTシステムの全域に、セキュリティ加えたワンストップ・ソリューションを提供出来る強みと、グローバル分散開発を可能とする当社独自の開発ツールに加え、PMP（Project Management Professional：プロジェクト管理の国際標準資格）を保有する当社技術者（技術者の4人に1人が保有）による高度なプロジェクト管理力、経営陣や社内専任組織による徹底した品質レビューによる確かな品質力に強みがあります。

・ 「総合エンジニアリング企業」

IoTシステムでは、デバイスからネットワーク、基幹システム、クラウド、ビッグデータ迄の知識・経験と対応力が求められ、領域毎に必要な技術要素は異なります。IoTシステムの全域をカバーする当社は、これまでの知識・経験をアセット化し、「システム・エンジニアリング」「ソフトウェア・エンジニアリング」の観点から、設計技術・生産技術・開発技術・プロジェクト管理・品質管理の向上に取り組んでおり、先端IT研究所を中心に、お客様に魅力と満足を提供する為のアドバンスト・ソリューションを追求します。

・ 目指す会社の姿

目指す会社の姿を、「IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業」とし、その具体的内容は次の通りとしました。

- ①利益成長型企業として期待される企業
- ②デバイス制御（センシング、OS、近距離無線を含む）から広域ネットワーク、大規模基幹システム、クラウドまでのIoTシステムの全域をカバーし、セキュリティ・ソリューションを提供する総合エンジニアリング企業
- ③融合・連携により新たな価値を創造し、「Advanced Solution」をプロバインドしている企業
- ④先進的な「One Stop Solution」を提供している企業
 - ・提案～企画・設計～開発～運用・保守に至る「One Stop Solution」を提供している企業
 - ・デバイス制御（センシング、OS、近距離無線を含む）から広域ネットワーク、大規模基幹システム、ビッグデータ・クラウドに至る全IoTシステム領域をワンストップで提案する企業
 - ・情報セキュリティ・ガバナンスの設計からネットワーク、デバイス、フィジカルに至るセキュリティ・ソリューションをワンストップで提案する企業
- ⑤グローバル（国内、米国、中国、ベトナム、アジア諸国）に活動を展開している企業
- ⑥企業グループを形成し、各社が得意とする技術・ノウハウを融合し、総合力を発揮している企業
- ⑦社員一人ひとりの成長と輝きが、会社の成長と企業価値向上にしっかりとシンクロしている企業

3. 市場・環境認識

日本の社会インフラは、2020年に開催が予定されている東京オリンピックをひとつの契機として、エネルギー、自動車、道路、鉄道、航空、情報通信、防災、医療など、あらゆる分野で、第4次産業革命とも呼ばれるIoTや第3のプラットフォーム（モバイル、ソーシャル、ビッグデータ、クラウド）等の先進的なICT技術をフル活用した次世代システムへの移行・更新が進展して参ります。また、情報セキュリティの領域では、情報漏洩や標的型サイバー攻撃の脅威は高まっており、IoTが本格的に進展する情勢において、情報システム全体やIoT機器に対するセキュリティ対策が急がれています。

4. 中期経営計画の概要

当社は、社会システム領域と全IoT領域での強みを背景に、「安心」「安全」「快適」「環境」をキーワードに、次世代型へと移行する社会の発展に貢献すると共に、この3カ年を2020年以降も持続的成長を遂げるための変革期と位置付け、持続的成長と企業価値向上を図り、「利益成長型企业」を目指して参ります。

これに向け、金融システム事業を発展的に解消し、社会システム事業に統合・再編し、次世代基盤システム領域への対応を強化することで、社会システム事業の拡大を図ります。

又、既にIoTシステム領域に対応しているユビキタス事業を、IoTシステム事業と改称し、社会システム事業との連携を強化することで、全IoTシステム領域のワンストップ対応を実現して、IoTシステム事業の拡大を図ります。

(1) スローガン：「IoTを活用した次世代社会システムで次なる成長」

当社のビジョンと理念の実現に向け、当社の強みを最大限に発揮すべく「IoTを活用した次世代社会システムで次なる成長」をスローガンに、「社会システム」「IoT」「セキュリティ」「ソリューション」「グローバル」の5つのブランドの強化と訴求を積極的に展開します。

(2) 目標とする経営指標

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高	10,500百万円	10,600百万円	11,000百万円
営業利益	600百万円	700百万円	800百万円
経常利益	605百万円	705百万円	805百万円
当期純利益	363百万円	423百万円	483百万円
営業利益率	5.7%	6.6%	7.3%
1株当たり当期純利益	80.8円	92.1円	104.4円
1株当たり純資産	629.5円	690.9円	766.6円
自己資本当期純利益率(ROE)	13.1%	13.8%	14.1%
自己資本比率	53.5%	55.8%	59.8%
従業員数	508人	525人	543人

(3) セグメント別売上目標

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
社会システム事業	8,720百万円	8,690百万円	8,885百万円
IoTシステム事業	1,780百万円	1,910百万円	2,115百万円
合計	10,500百万円	10,600百万円	11,000百万円

(4) 基本方針

①次世代社会システム領域を拡大する

- ・IoT 技術や第3のプラットフォーム（モバイル、ソーシャル、ビッグデータ、クラウド）を活用した次世代社会システム領域に、総合力を発揮して、ベースロードの骨太化と先進対応領域の参入でビジネスの拡大を図る

②新たな価値の創造・提供に挑戦する

- ・先進技術と特異技術、豊富な経験とノウハウ、英知を融合し、新たな価値（ソリューション）を創造すると共に、国内外の協力会社、提携企業との関係強化及び資本提携企業の拡充を図る
- ・外部機関・団体との連携、共同研究を通じて、新たなビジネスの萌芽を促進し、企業認知、ソリューション認知を積極的に展開し、「アドソル・ブランド」の訴求を展開する

③競争優位を発揮する

- ・技術の先進性と先導性を確保し、多様性に富んだプロフェッショナル人材の育成を通じて、小規模から高難度大規模プロジェクト及びグローバル分散開発を推進し、高品質と収益性に寄与するマネジメント力を強化する
- ・業務プロセスの改善と ICT 化により、業務品質の向上とローコスト・オペレーションを実現する

(5) 事業別戦略

①社会システム事業

- ・エネルギー(電力・ガス)領域におけるベースロードの強化と先進対応領域の拡大
- ・自動運転を支える ITS (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム) 領域への参入
- ・次世代領域（鉄道、道路、航空、防災、旅行、メディカル、情報通信）で、新たなワンストップ・ソリューションを確立
- ・ネット決済基盤と次世代基盤の強化による社会システム領域の拡大
- ・ソリューション・ビジネスの強化・推進

②IoT システム事業

- ・先進組込み IoT (自動車、メディカル、オフィス機器、産業機器、セキュリティ) 領域の拡充
- ・特異技術（近距離無線通信、電界通信）で、国内トップ・ベンダーの地位を確立
- ・「セキュリティ・ソリューション : LynxSECURE」のビジネス化推進
- ・IoT-ODM サービス⁽¹⁾のビジネス化推進

¹ :IoT-ODM サービス:IoT 機器を理想的に機能・動作させる組込みシステムの設計・開発・検証・保守をメーカー様より一括して受託し、ご提供するアウト・ソーシング・サービス。ODM は Original Design Manufacturing の略

(6) 利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、安定的な成長を持続させる為の積極的な投資と、財務体質の安定化に向けた内部留保、更に、株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。

株主還元につきましては、持続的な安定配当に留意し、業績に裏付けられた成果の配分を行います。

剰余金の配当につきましては、従来の配当性向方針を3%引き上げて、「配当性向33%以上」を目指します。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
1株当たり配当金	27円	31円	36円
配当性向	33.4%	33.6%	34.5%

以上

中期経営計画 Vision 2020

2017/3期～2019/3期

IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業

4th
Anniversary



アドソル日進株式会社

前中期経営計画 振り返り

〈ビジョン〉 **キラリと光るICT企業**

〈スローガン〉 **社会システムで飛躍する**

当初計画を達成

目標 : 売上高100億円、営業利益5.0億円
実績 : 売上高104億円、営業利益5.4億円

電力自由化をワンストップ対応

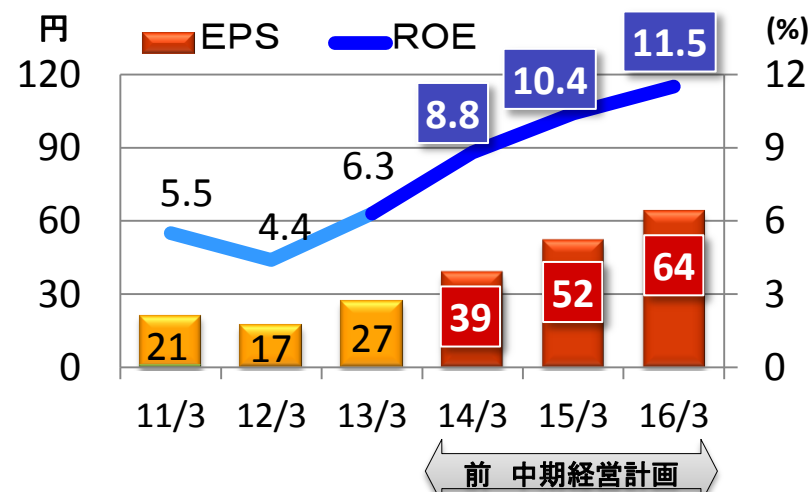
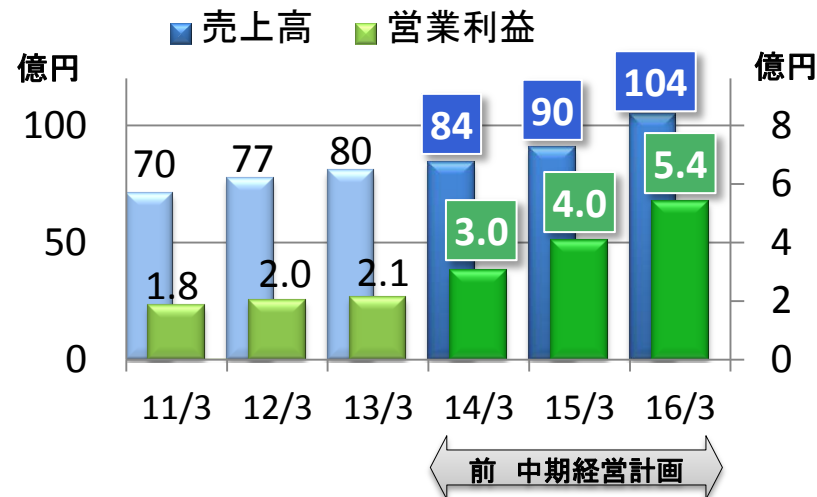
エンドユーザー : 電力・ガス、新規参入各社、他
対応システム : 託送システム、通信制御システム、スマートメーター、他

セキュリティ・ソリューションの拡充

情報セキュリティ・ガバナンス、
ネットワーク、IoT機器、フィジカル

次世代をテーマとした 先進領域の拡大

自動車、医療機器、スマート・メーター、
セキュリティ(IoT機器、フィジカル)



※ 当社は、2014年1月1日付で、普通株式1株につき3株の分割を行っております。グラフ内数値は、分割実施を考慮した内容となっております。

事業の歴史がIoTへの歩み

安心

安全

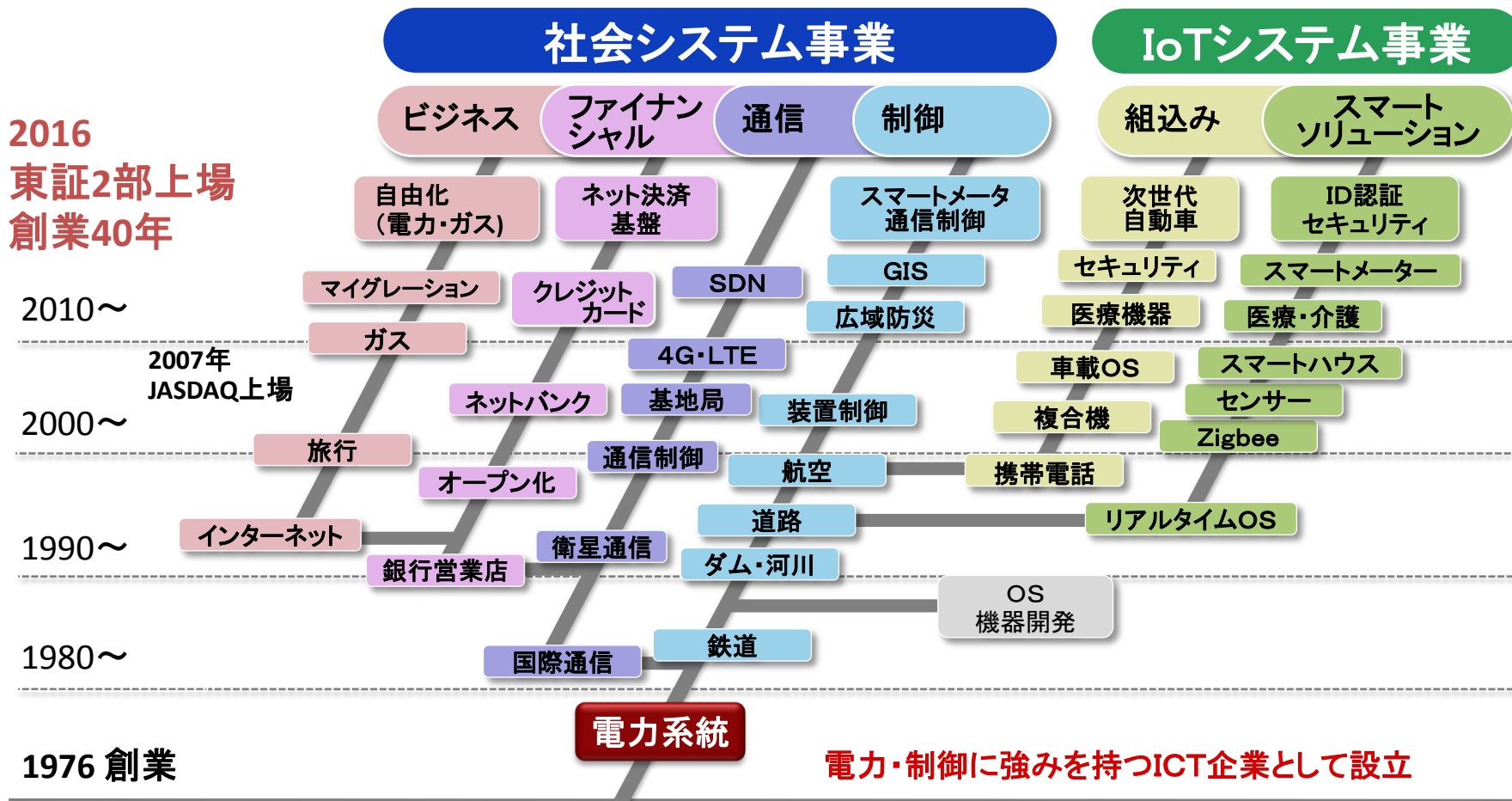
快適

環境

社会システム事業

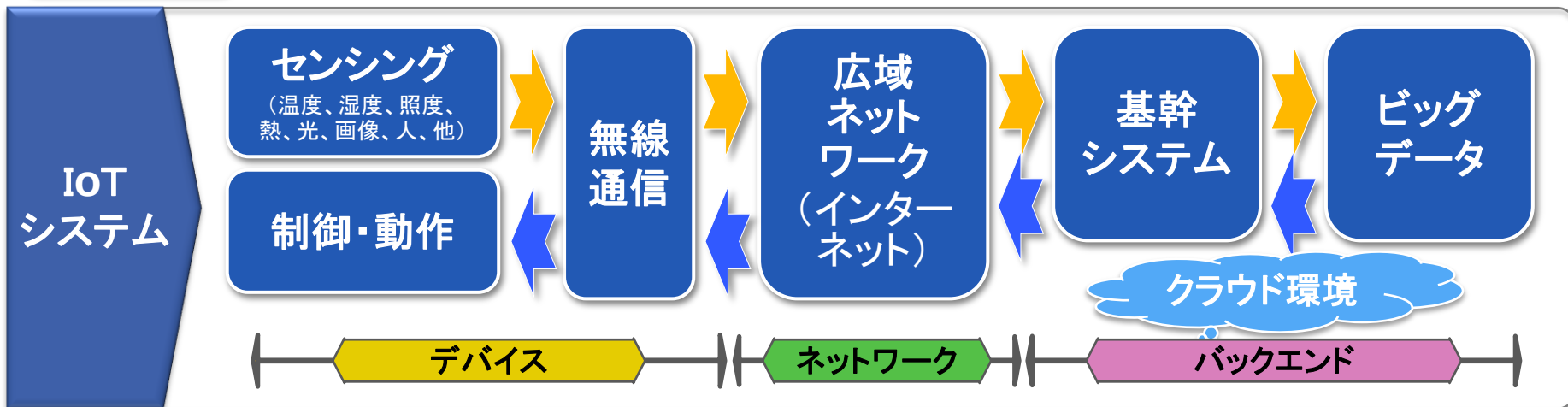
IoTシステム事業

2016
東証2部上場
創業40年



電力・制御に強みを持つICT企業として設立

IoTシステムの全域



IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業

IoT領域

デバイス

ネットワーク

クラウド

ビッグデータ

システム・エンジニアリング

ソフトウェア・エンジニアリング

利益成長型企业

として期待される企業

総合エンジニアリング企業

デバイス制御(センシング、OS、近距離無線通信を含む)からネットワーク、大規模インフラ、クラウドまでのIoTシステムの全域をカバーし、セキュリティ・ソリューションを提供する企業

Advanced Solution

をプロバイド

融合・連携により新たな価値を創造する企業

先進的One Stop Solution

を提供している企業

システム ライフサイクル

提案～企画・設計～
開発～運用・保守

全IoTシステム 領域

デバイス制御(センシング、OS、近距離無線通信を含む)から広域ネットワーク、大規模基幹システム、ビッグデータ、クラウド

セキュリティ ソリューション

情報セキュリティ・ガバナンスの設計からネットワーク、デバイス、フィジカル

グローバル展開

国内、米国、中国、ベトナム、アジア諸国で活動をしている企業

総合力を発揮

企業グループを形成し、各社が得意とする技術・ノウハウを融合し、総合力を発揮している企業

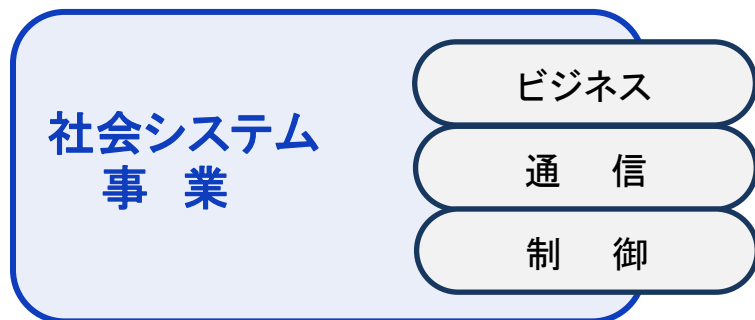
社員と会社の成長

社員一人ひとりの成長と輝きが、しっかりと企業価値向上にシンクロしている企業

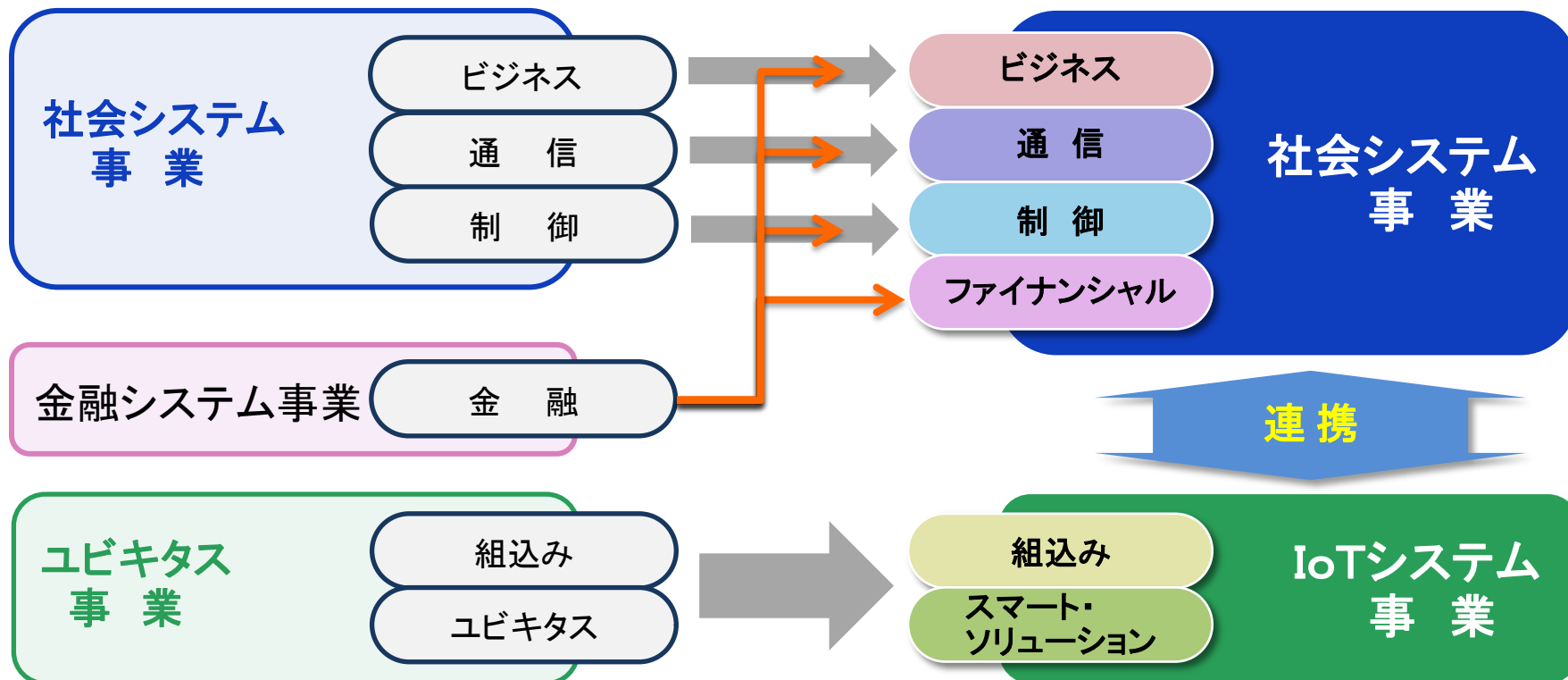
事業セグメントの再編 (IoT対応力強化)

金融システム事業の強み(次世代基盤技術)を社会システム事業に統合・再編
ユビキタス事業をIoTシステム事業に改称
社会システム事業とIoTシステム事業との連携強化

■ 前期まで(2013/4～2016/3)



■ 当期以降(2016/4～)



IoTを活用した次世代型へ移行・更新

既存インフラ

エネルギー

航空

道路

自動車

通信

医療

ロボット

物流

GPS・空間

ペイメント(決済)

Security ドローン GIS

自動運転 オリンピック

インバウンド 防災

IoT

Internet of Things

第4次産業革命
Industry 4.0

モバイル ソーシャル
ビッグデータ クラウド

第3のプラットフォーム

持続可能社会

次世代型の 社会システムへ 移行・更新



安心

快適

安全

環境

〈スローガン〉 IoTを活用した次世代社会システムで次なる成長

基本方針

次世代社会システム領域を拡大

IoT技術や第3のプラットフォーム（モビリティ、ソーシャル、ビッグデータ、クラウド）を活用した次世代社会システム領域に、総合力を発揮して、ベースロードの骨太化と先進対応領域の参入でビジネスの拡大を図る

新たな価値の創造・提供に挑戦

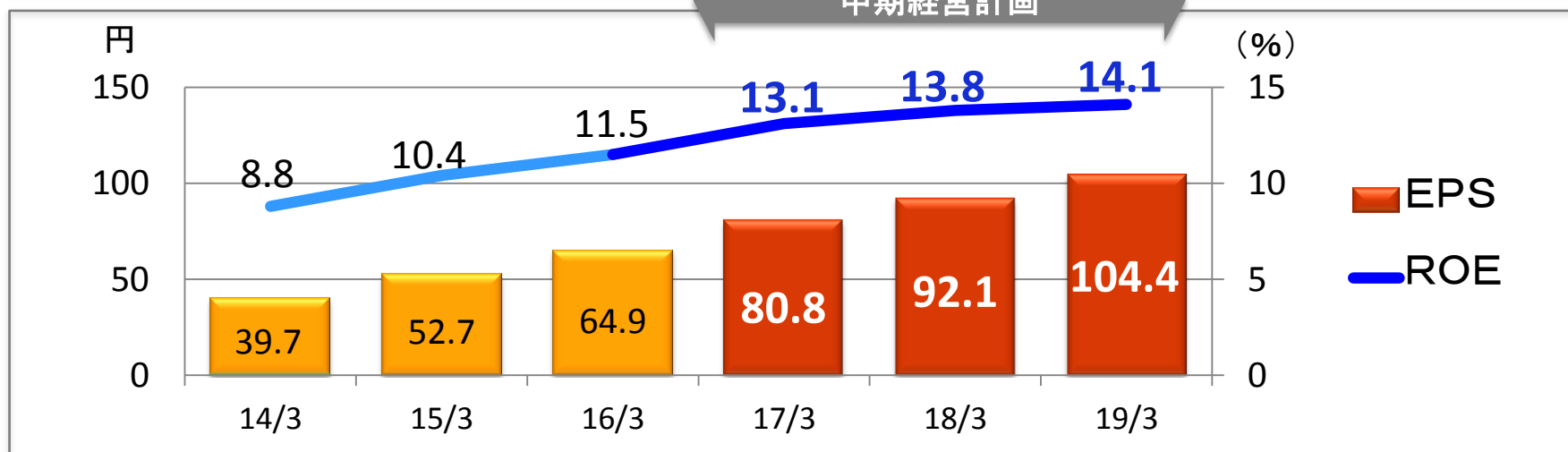
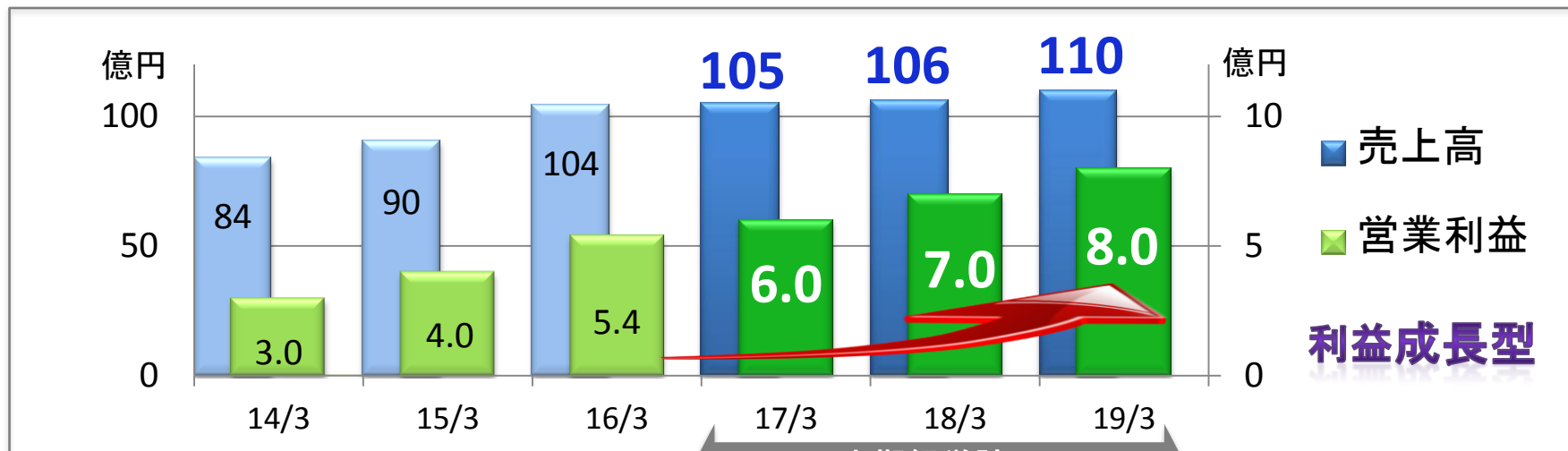
- ・先進技術と特異技術、豊富な経験とノウハウ、英知を融合し、新たな価値（ソリューション）を創造する
- ・国内外の協力会社、提携企業との関係強化及び資本提携企業の拡充を図る
- ・外部機関/団体との連携、共同研究を通じて、新たなビジネスの萌芽を促進する
- ・企業認知、ソリューション認知を積極的に展開し、「アドソル・ブランド」の訴求を展開する

競争優位を発揮

- ・技術の先進性と先導性を確保し、多様性に富んだプロフェッショナル人材の育成を通じて、小規模から高難度大規模プロジェクト及びグローバル分散開発を推進し、高品質と収益性に寄与するマネジメント力を強化する
- ・業務プロセスの改善とICT化により、業務品質の向上とローコスト・オペレーションを実現する

業績目標

売上高 110億円、営業利益 8億円、ROE 14%



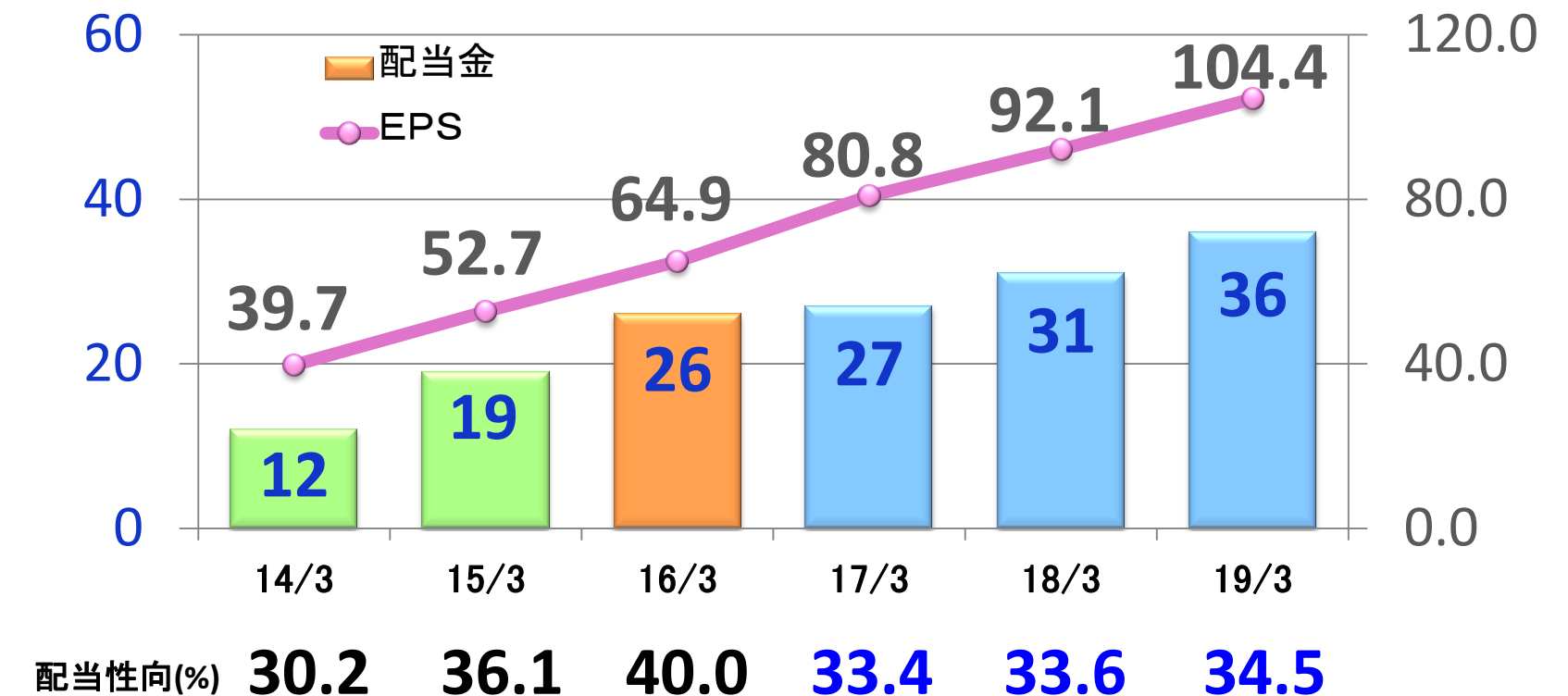
利益成長(二桁連続増益)を目指す

(単位:百万円)	2017/3期		2018/3期		2019/3期	
	計画	成長率	計画	成長率	計画	成長率
売上高	10,500	0.4%	10,600	1.0%	11,000	3.8%
営業利益	600	10.7%	700	16.7%	800	14.3%
営業利益率	5.7%	-	6.6%	-	7.3%	-
経常利益	605	10.0%	705	16.5%	805	14.2%
経常利益率	5.8%	-	6.7%	-	7.3%	-
当期純利益	363	25.5%	423	16.5%	483	14.2%
純利益率	3.5%	-	4.0%	-	4.4%	-
	指標		指標		指標	
E P S (円)	80.8		92.1		104.4	
R O E (%)	13.1		13.8		14.1	
1株当たり純資産 (円)	629.5		690.9		766.6	
自己資本比率 (%)	53.5		55.8		59.8	
従業員数 (人)	508		525		543	

配当性向33%以上、連続増配

年間配当金(1株/円)

EPS(円)



※ 当社は、2014年1月1日付で、普通株式1株につき3株の分割を行っております。グラフ内数値は、分割実施を考慮した内容となっております。

戦 略

- エネルギー(電力・ガス)領域におけるベースロードの強化と先進対応領域の拡大
- 自動運転を支えるITS(Intelligent Transport Systems: 高度道路交通システム)領域への参入
- 次世代領域(鉄道、道路、航空、防災、旅行、メディカル、情報通信)で、新たなワンストップ・ソリューションを確立
- ネット決済基盤と次世代基盤の強化による社会システム領域の拡大
- ソリューション・ビジネスの強化・推進

電力

ガス

鉄道

道路

航空

防災

医療

次世代情報通信

プラント

産業機器の
装置制御

地理情報

ネット決済

戦 略

- 先進組込みIoT (自動車、メディカル、オフィス機器、産業機器、他) 領域の拡充
- 特異技術(近距離無線通信、電界通信)で、国内トップ・ベンダーの地位を確立
- 「セキュリティ・ソリューション: LynxSECURE」のビジネス化推進
- 「組込みIoT-ODMサービス(*1)」のビジネス化推進



(*1) 組込みIoT-ODMサービス:

IoT機器を理想に機能・動作させる組込みシステム的设计・開発・検証・保守をメーカー様より一括して受託し、ご提供するアウト・ソーシング・サービス。ODM:Original Design Manufacturingの略

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



アドソル日進株式会社

URL <http://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川10階

TEL:03-5796-3131

経営管理部 広報・IR担当 TEL:03-5796-3261 メール:ir@adniss.jp